



2024年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月4日

上場会社名 ティーライフ株式会社
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 齋藤 正和
四半期報告書提出予定日 2023年12月4日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0547-46-3459

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第1四半期の連結業績(2023年8月1日～2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第1四半期	3,037	3.6	50	63.2	50	64.9	21	77.2
2023年7月期第1四半期	3,150	10.0	136	35.8	144	33.2	96	32.2

(注) 包括利益 2024年7月期第1四半期 23百万円 (76.5%) 2023年7月期第1四半期 99百万円 (32.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第1四半期	5.15	
2023年7月期第1四半期	22.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期第1四半期	8,576	6,081	70.9	1,428.55
2023年7月期	8,567	6,168	72.0	1,449.07

(参考) 自己資本 2024年7月期第1四半期 6,081百万円 2023年7月期 6,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期		26.00		26.00	52.00
2024年7月期					
2024年7月期(予想)		26.00		26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,614	1.2	847	3.0	847	0.4	555	7.3	130.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期1Q	4,257,200 株	2023年7月期	4,257,200 株
期末自己株式数	2024年7月期1Q	180 株	2023年7月期	180 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年7月期1Q	4,257,020 株	2023年7月期1Q	4,249,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や、為替の影響、ロシアによるウクライナ侵攻といった地政学的リスクやインフレの進行により先行き不透明な状況が続いているものの、新型コロナウイルス感染症に関する経済・社会活動の制限緩和が進み、消費行動に回復の動きが見られる状況にあります。

小売、卸売業界におきましても、制限の緩和を受け人流の回復がみられるものの、エネルギー価格や原材料価格の高騰に加え急激な為替変動等による物価上昇懸念など、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、「進化するウェルネス&ライフサポート企業」をビジョンとし、引き続き「Reborn! ver. 2」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、卸売事業は売上伸長したものの3,037百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。損益面では、仕入価格や配送コストなどの運営コスト上昇の影響から営業利益は50百万円（同63.2%減）、経常利益は50百万円（同64.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円（同77.2%減）となりましたが、当第1四半期連結累計期間においては、ほぼ期首の計画通りに推移しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益又は損失については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

(卸売事業)

卸売事業は、実店舗向けの販売では秋口の気温が下がらず季節商品の動きが鈍かったものの、テレビショッピング向けの販売では主力となるサプリメントを中心にヘルスケア商品が好調に伸長し、売上拡大に貢献しました。一方で円安の影響や運営コストの増加などから原価率が上昇しました。

この結果、売上高は1,740百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は118百万円（同13.6%減）となりました。

(小売事業)

小売事業では、創立40周年を記念したプロモーションや限定商品の発売などに注力したほか、カタログ通販の顧客開拓を積極的に進めました。また、EC領域ではインフルエンサーを活用した販売促進を拡充しデジタルシフトに注力するとともに、オリジナル商品の品揃え拡大や販促効率の向上に努めました。売上面では特にECモールでの競合出店社数の増加に伴う競争の激化や、中国向けEC事業の伸び悩みなどの要因により減収となりました。利益面では、仕入価格や配送コストなどの運営コストが上昇しました。

この結果、売上高は1,082百万円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント損失は102百万円（前年同四半期は47百万円のセグメント損失）となりました。

(プロパティ事業)

プロパティ事業では、袋井センター及び掛川センターの安定稼働に加え、名古屋センターでの新たな出荷代行の受注に注力しましたが、競争の激化により減収となりました。利益面では光熱費や新規受託への対応に伴う運用コストが増加しました。

この結果、売上高は214百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益は31百万円（同27.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、8,576百万円(前連結会計年度末比8百万円増)となりました。

流動資産の増加(同17百万円増)は、主に現金及び預金が103百万円減少したものの、棚卸資産が102百万円、受取手形及び売掛金が33百万円増加したことによるものであります。

固定資産の減少(同21百万円減)は、主に投資その他の資産のその他が12百万円、のれんが10百万円減少したことによるものであります。

繰延資産の増加(同13百万円増)は、創立費及び開業費を計上したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、2,495百万円(前連結会計年度末比96百万円増)となりました。

流動負債の増加(同173百万円増)は、主に未払法人税等が130百万円減少したものの、買掛金が274百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少(同77百万円減)は、主に長期借入金が64百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,081百万円(前連結会計年度末比87百万円減)となり、この結果、自己資本比率は70.9%となりました。

純資産の減少は、主に利益剰余金が88百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、2023年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,624	2,520
受取手形及び売掛金	1,098	1,132
有価証券	53	53
棚卸資産	792	895
その他	158	143
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	4,716	4,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	686	691
土地	2,429	2,429
その他(純額)	122	120
有形固定資産合計	3,238	3,241
無形固定資産		
のれん	174	163
その他	74	71
無形固定資産合計	248	235
投資その他の資産		
投資有価証券	129	131
その他	235	223
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	364	353
固定資産合計	3,851	3,829
繰延資産	—	13
資産合計	8,567	8,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	484	758
1年内返済予定の長期借入金	105	99
未払法人税等	173	43
賞与引当金	52	97
役員賞与引当金	14	—
その他	492	497
流動負債合計	1,323	1,496
固定負債		
長期借入金	558	494
退職給付に係る負債	82	80
資産除去債務	72	72
その他	362	350
固定負債合計	1,076	998
負債合計	2,399	2,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	361	361
資本剰余金	331	331
利益剰余金	5,451	5,362
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,143	6,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	26
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益累計額合計	25	26
純資産合計	6,168	6,081
負債純資産合計	8,567	8,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
売上高	3,150	3,037
売上原価	2,063	2,005
売上総利益	1,086	1,031
販売費及び一般管理費	950	981
営業利益	136	50
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	5	—
その他	2	1
営業外収益合計	8	2
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	0
創立費償却	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	144	50
特別利益		
保険解約返戻金	—	0
特別利益合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	144	51
法人税等	48	29
四半期純利益	96	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	96	21

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	96	21
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	2	1
四半期包括利益	99	23
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	23
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	プロパティ 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,714	1,212	35	2,962	—	2,962
その他の収益(注) 3	—	—	188	188	—	188
外部顧客への売上高	1,714	1,212	223	3,150	—	3,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	3	69	72	△72	—
計	1,714	1,215	293	3,223	△72	3,150
セグメント利益又は損失(△)	137	△47	44	133	2	136

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	プロパティ 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,740	1,082	66	2,889	—	2,889
その他の収益(注) 3	—	—	148	148	—	148
外部顧客への売上高	1,740	1,082	214	3,037	—	3,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	2	52	55	△55	—
計	1,740	1,085	267	3,093	△55	3,037
セグメント利益又は損失(△)	118	△102	31	48	2	50

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。